

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 10 月 20 日 (2016.10.20)

【公開番号】特開 2015-69309 (P2015-69309A)

【公開日】平成 27 年 4 月 13 日 (2015.4.13)

【年通号数】公開・登録公報 2015-024

【出願番号】特願 2013-201668 (P2013-201668)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 10/10 (2012.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 Q 10/10 1 1 0

H 0 4 M 1/00 R

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 9 月 1 日 (2016.9.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

反復性のあるイベントをスケジューリングする情報端末装置において
イベントの履歴情報に基づいて間隔分布を求める間隔集計手段と、
所定の説明変数ごとにイベントの生起確率分布を設定する生起条件集計手段と、
前記間隔分布および生起確率分布に基づいて次回以降のイベントをスケジュールリング
するスケジューリング手段とを具備したことを特徴とする情報端末装置。

【請求項 2】

前記生起条件集計手段は、イベントの履歴情報に基づいて、曜日を説明変数とする生起
確率分布を設定することを特徴とする請求項 1 に記載の情報端末装置。

【請求項 3】

前記生起条件集計手段は、イベントの履歴情報に基づいて、月齢日を説明変数とする生
起確率分布を設定することを特徴とする請求項 1 に記載の情報端末装置。

【請求項 4】

前記生起条件集計手段は、イベントに関連する営業日を説明変数とする生起確率分布を
設定することを特徴とする請求項 1 に記載の情報端末装置。

【請求項 5】

前記生起条件集計手段は、ユーザのスケジュールの空き時間を説明変数とする生起確率
分布を設定することを特徴とする請求項 1 に記載の情報端末装置。

【請求項 6】

前記生起条件集計手段は、他のイベントに費やされる総時間長が短い日ほど生起確率を
高く設定することを特徴とする請求項 5 に記載の情報端末装置。

【請求項 7】

前記生起条件集計手段は、イベントの実施場所と他のイベントの実施場所とが近いほど
生起確率を高く設定することを特徴とする請求項 5 または 6 に記載の情報端末装置。

【請求項 8】

前記スケジューリング手段は、スケジューリング結果をユーザへ出力することを特徴と
する請求項 1 ないし 7 のいずれかに記載の情報端末装置。

【請求項 9】

前記スケジューリング手段は、スケジューリング結果に基づいて次回以降のイベントをカレンダーに予約することを特徴とする請求項 1 ないし 8 のいずれかに記載の情報端末装置。

【請求項 10】

情報端末装置が、反復性のあるイベントを識別してスケジューリングする方法において、

イベントの履歴情報を記憶部から読み出して当該イベントの間隔分布を求める手順と、
所定の説明変数ごとにイベントの生起確率分布を設定する手順と、
前記間隔分布および生起確率分布に基づいて次回以降のイベントをスケジューリングする手順とを含むことを特徴とする情報端末装置のスケジューリング方法。

【請求項 11】

反復性のあるイベントを識別してスケジューリングするプログラムにおいて、
イベントの履歴情報を記憶部から読み出して当該イベントの間隔分布を求める手順と、
所定の説明変数ごとにイベントの生起確率分布を設定する手順と、
前記間隔分布および生起確率分布に基づいて次回以降のイベントをスケジューリングする手順とを、情報端末装置に実行させる情報端末装置のスケジューリングプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

(3)生起条件集計手段は、イベントの履歴情報に基づいて、月齢日を説明変数とする生起確率分布を設定するようにした。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

(4)生起条件集計手段は、イベントに関連する営業日を説明変数とする生起確率分布を設定するようにした。